

消防には「火災」や「救急」以外に どんな仕事があるの？

「最近、火事が少ないので、消防署は暇だね」と言われることがありますが、

火事が起これば消防車が出動して消火活動を行い、けが人や急病人が出れば救急車が病院まで運びます。確かに、このような仕事は消防の代表的な仕事ですが、消防の仕事はこれだけではありません。

台風や集中豪雨で町中が水浸しになったとき、消防団が出動して土のうを積んだり、孤立した人を救出することなどは良く知られています。このほかにも、ホテルやアパートのスプリンクラーや非常口が正しく整備されているかどうかを点検したり、大きな石油タンクをつくらるときに、その安全性を審査することなども消防の重要な仕事といえます。また人工呼吸法等を皆さんに学んでいただく応急手当の講習会を開催したり、防災訓練の実施、あるいは、地域の住民

が協力して防災活動に取り組んでいただくための自主防災会の組織化の推進等も重要な役割となっています。

このように、消防の仕事は火災の鎮圧・予防、けが人等に対する救急業務、地震等の災害時の警戒、遭難者の捜索救助、危険物の規制、防災意識の高揚：等々非常に広い範囲に及んでいます。消防は災害時に、被害を最小限にとどめることはもちろん、災害を未然に防ぐための予防に努め、皆さんの生命、財産を守ることを任務としています。

ところであなた！ いざというときに、落ち着いて行動をすることができそうですか？

災害は、いつやってくるかわかりません。さまざまな状況に対応できるように、普段からの備えと防災に対する自覚が大切です。防災訓練などに積極的に参加し、頭で理解したことをいつでも行動に移せるようにしておきましょう。

こちら
119番

- 消防テレガイド
☎69-6141
- 在宅医テレガイド
☎67-2828
- こちら119番
消防本部通信指令室
☎68-5119



図書館 だより

新刊書紹介

モゼル家は、ロサンゼルス住宅街に住むインテリ家族だったが、ある日母が家庭を捨てて家を出る。残された父はアルコール依存症と躁鬱病に。ニューヨークで独立している三姉妹は、次女のイブを中心に、次々と騒動を起こす父の面倒を見ることが。普通の生活のなかの深刻な危機の広がる波紋が、乾いたユーモアとアイロニーとで明るく描かれ、洒落たストーリーに。著者の人間に対する愛情が感じられる好作品。



『電話を切ったら…』
デリア・エフロン著
兼武進訳 飛鳥新社



鹿島北読書会
大竹富三江さん

私
の
読
書
は
じ
め

何年前になるのでしょうか。先の大戦後二年でしょうか。小学三年生の十一月、錦織の秋もたけなわでした。庭のもみじ葉と共に届いた5・6冊の本、それは嫁いだ長姉から。中の一冊が吉屋信子著『七本椿』でした。富貴と極貧、陰湿いじめと明朗正義漢、綾なす二家族が巻き込むその周辺。無我夢中という字もその状況も初めて知りました。その時からです私が魅惑的な読書の世界から抜け出せなくなったのは。世紀末の混沌の中で育つこと、生きることに意味と難しさ、今だからこそ読んでほしい至福の一冊なのです。なのに何としたことでしょうか、記憶違いなのでしょうが。

今回の一文を認めるにあたり、再読もしたいし出版社を図書館で調べて戴いたのですが吉屋信子の中にはないのです。ああ、私もいよいよ…。この本のこと何でもいいたいです。御存知でしたら御一報を。